

ボトルシップのせかい 「～ビンの中の奇跡～」 開催中

夏の企画展「ボトルシップのせかい ～ビンの中の奇跡～」を7月20日（土）から開催しています。

「ボトルシップ」は今から約200年前、船乗りが飲み干した酒ビンの中に、乗っている船の模型を入れたのが起源とされています。今回の企画展では船の模型が入ったボトルシップのほか、飾り玉やお菓子の箱が入った作品「ボトルワーク」など、合わせて50点以上展示してあります。

制作されたのは、中部ボトルシップ愛好会の方々です。

展示を観た方からは「どうやって中に入れたのか不思議」、「すごい」などの感嘆の声が多く寄せられました。

また、帆船などに使われるロープワーク（ロープの結びかた）の体験コーナーも設置してあり、「もやい結び」、や「まき結び」などの基本的なロープワークに挑戦することもできます。9月16日（月・祝）まで開催していますので、ぜひご覧ください。



笑劇サイエンスショー

「笑突？SHOW 劇？衝撃だあ！！」

7月31日（水）～8月4日（日）、夏休み恒例の笑劇サイエンスショー「笑突？SHOW 劇？衝撃だあ！！」が行われ、たくさんの方に楽しんでいただきました。

この笑劇サイエンスショーは、今年で7年目を迎え、劇団・笑劇派からはおなじみの「あかねちゃん」と「はるかちゃん」が出演し、当館からは新人研究員「そらくん」、謎の研究員「こじまーる」、研究所の博士「しんちゃん」が日替わりで1名ずつ出演しました。振り子の周期や慣性の法則を使った実験が行われ、フィナーレの短冊を使った落下実験では笑いと歓声に会場が包まれました。



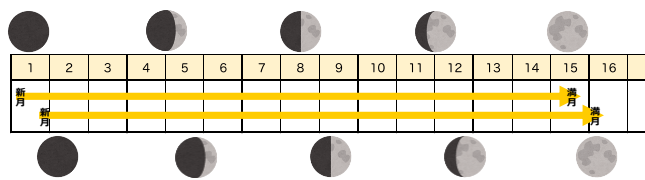
☆天文ピックス☆

お月見をしよう ～ 中秋の名月は満月？ ～

日本では昔から、旧暦（昔のカレンダー）の8月15日の夜の月をながめるのがよいとされてきました。この日の月を「中秋の名月」あるいは「十五夜」といいます。

今年の中秋の名月は9月13日です。でも、満月となるのは次の日の9月14日。中秋の名月は満月ではないのでしょうか。

実は、中秋の名月と満月が同じ日になるとはかぎりません。旧暦は、新月の瞬間をむかえた日が、その月の一日となり1か月がスタートします。新月から満月になるまでおよそ14.8日かかります。新月になる瞬間が1日の中のどの時間におきるかによって、満月になる瞬間の日付が変わるため、日にちに差ができます。したがって、新月から必ず15日目に満月とはならないのです。次回、中秋の名月と満月が同じ日になる年は2021年です。



親子天文教室 今年の夏見える木星と土星はどんな星？

8月3日（土）に「親子天文教室 月と惑星を観察しよう」が、開催されました。講師は、当館ではおなじみ大人気の天文アドバイザー浅田英夫先生です。初めにプラネタリウムで今夜の星空案内、木星と土星の詳しいお話をしていただいてから、木星と土星へ宇宙旅行も行きました。浅田先生の分かりやすい説明と、ユーモアたっぷりのお話で会場はとても楽しい雰囲気につつまれました。

その後、外に出て観望会を行いました。少し曇天でしたが、なんとか木星を見ることができました。

参加者の親子からは、「先生の説明が分かりやすく、面白かった。」「木星や土星のことを詳しく知れて良かった。」「望遠鏡で実際の木星を見られたことがとてもうれしかった。」などと感想をいただきました。

